

閉会挨拶

一般社団法人 J A 共済総合研究所 専務理事

及川 尚孝



本日は当研究所のセミナーに、全国各地からお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。また大変ご多用のなか、基調講演をいただきました濱田様、ビデオ出演をいただきました山本様に、心より御礼を申し上げます。

今回のセミナーは「地域の協同で『農』と『くらし』を守る」をテーマに開催させていただきました。農村集落を維持して行くためには、「農」と「くらし」の両立が必要ですが、このうち今回のセミナーでは、先行して進めてまい

りました。「農」を守る取組みを中心に報告させていただきました。

「農」については諸課題がありますが、そのなかで、農業労働力の確保が喫緊の課題となっております。

我々の調査では、農業労働力の確保策として、特に離農しやすい中小規模の農家にとっては、援農ボランティアのニーズがあることが分かってまいりました。

この援農ボランティアは、住民の参画を募る

ことで、「農」への理解を促進することはもとより、最近では援農ボランティアが、農家の指導を受けながら耕作放棄地や未利用農地で農作物を栽培し、それを販売することで、生活の足しにしたり、地域のくらしを守る活動資金の足しにする取組事例が出てきております。

こうした取組みを通じて、新規就農者が生まれたり、農家にとっても後継者と出会う良い機会づくりになっているようです。

また、都市の若者などと農村部との地域間交流を進めるうえでも、まずは農業体験等をしてもらう際に、農繁期で非常に忙しい農家に代わって、援農ボランティアが簡単な農作業を教える役割を担うこと、農村部の援農ボランティアが受け皿となることが重要であると考えます。

当研究所では調査研究に留まらず、そこで得られた各種ノウハウ等を社会実装に活かして行くことを目指しております。

本日ご報告した取組みもその一環として実施しているのですが、離農が進む中小規模の農家や農地を守るために、本日ご報告したような取組みの実施意向があるJA等の皆様に、先進・優良事例に基づく実施までのサポートを無償で行っております。

ご興味がある方はぜひ当研究所までご一報ください。皆様のご連絡をお待ちしております。

最後になりましたが、改めまして、本日セミナーにご参加いただきました皆様に感謝を申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。